

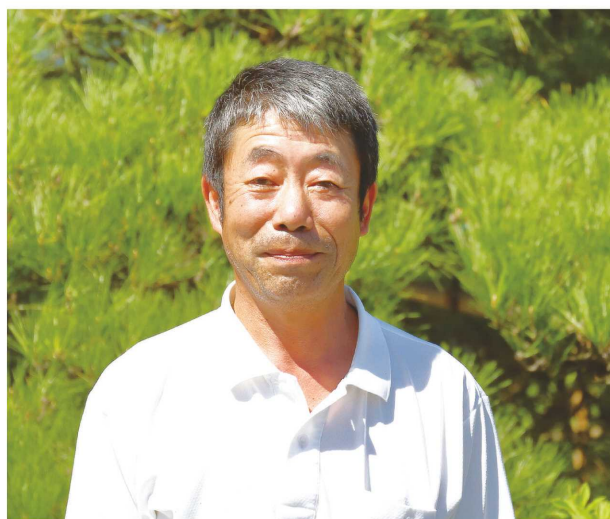
平成
30年度

株式会社カナセ

高機能・高品位アクリルボタンの製造



会社紹介

ボタンとアクリルシート、2つの事業分野を軸に
次代が求める新しい価値を創造しつつ社会に貢献

取締役 平山 英人

大正8年(1919年)、貝ボタンの製造を目的に創業した「株式会社カナセ」。以来、約1世紀にわたりプラスチック樹脂ボタンの製造・開発など、時代のニーズやファッション・トレンドを先取りした新しい素材の開発と画期的な加工技術の導入に取り組んできた。また“夢のプラスチック”と呼ばれるアクリルシートの成長事業が加わり、永続的な企業発展に向けて邁進している。いずれも限られたニッチ分野ながら、ボタン業界では「IVORY ELEPHANT」の商標を掲げてグローバルに活躍。アクリルシートでは「カナセライト」のブランドを持ち、それぞれの業界で最高の品質と技術を誇り、国内外から高く評価されている。革新的な技術力と独創的な製品提供を通じて同社が目指すものは、企業としての社会的責任を強く自覚し、新たな成長を遂げること。産業社会の一員であり、常に社会に貢献し続ける企業として、次代が求める新しい価値を創造している。

補助事業

高機能・高品位アクリルボタン
収益事業として目指す安定品質

現在、ボタン市場は素材としてポリエステルが主流であり、同社においてもポリエステルボタンをメイン商材として製造している。しかしポリエステルは耐候性が低く、時間経過に伴い黄色く変色してしまい、縫製工場ではボタンの黄変で在庫ボタンが廃棄されることや、衣服が長期間使用できないといった問題があった。

またデザイン面においても差別化を図ることが難しく、より高品位なデザインを有するボタンが市場から求められている。こうした背景の中、ボタン事業の独自性確保と市場ニーズに対応するために「高機能・高品位アクリルボタン」の開発に着手。高い耐熱性と耐溶剤性を有するアクリルボタンの品質を安定させつつ、量産するための取り組みが始まった。



成果

圧倒的な光沢と透明感で美しさキープ
生産効率と品質の向上で市場投入も…

アクリルボタンの魅力は圧倒的な光沢と透明感。黄変も劣化もなく美しさをキープし続ける。ただ従来の手作業では、品質安定にも限界があり、生産効率も低いという課題があった。今回、導入した機械設備の円筒内部は、波状仕様で凹凸があるため、従来のボトルネックとなっていた手作業でポリエステル樹脂を流し込み凹凸を作る工程が不要となった。手作業の工程ではどうしても品質にバラツキが生じていたが、その工程自体がなくなったことにより、生産効率と品質の向上という成果が得られた。生産量の見込みとして従来は50万個/月であったのが、300万個/月まで増加する見込みがたった。これによりアクリルボタンを市場投入するために必要な生産量が確保できた。ただ安定収益製品への推進が期待される中、現在新型コロナの影響を受けて市場が停滞した。随時状況を判断しながら、コロナ後の始動に向けて準備を行っている。



今後の展開

既存顧客から海外アパレルまで
エコ商材としても注目を集める

現在、同事業の成果が寄与できる市場は3つ。1つ目は既存のポリエステルボタンからアクリルボタンへの切り替え。既存顧客への評価も高く検討段階に進んでいる。2つ目は貝ボタン等の天然素材からの切り替え。貝ボタンは高価なためコストダウンを提供でき、デザイン性も高いことから高級シャツブランド等の注目を集めている。3つ目はエコ商材としての採用。焼却の際に有毒ガスを出さないことから、特にエコへの関心が高い海外アパレルから声が掛かっている。

会社概要

会社名	株式会社カナセ
代表者	代表取締役社長 金谷 清道
所在地	和歌山県田辺市稲成町204-1
資本金	4,200万円
従業員数	183名
業種	ボタン事業、アクリル事業
設立年月日	大正8年創業
TEL	0739-22-7651
FAX	0739-22-7654
URL	https://www.kanase.co.jp